



# 鶏と宗像



明けましておめでとうございます。さて、今年も酉年ということで、鶏の話題をお届けしたいと思います。

問い合わせ先 郷土文化課 ☎(62)2600

## 鶏の伝来



鶏は庭で飼うから「にわとり」というらしく、私たちにとはとても身近な鳥です。それでは、鶏はいつから日本にいたのでしょうか。答えは稲作の始まった弥生時代からです。なぜ、縄文時代にさかのぼらないかといいますと、他の家畜化した動物と同様、鶏を飼うにはやはり人間の「定住」と畑で作る「穀物などの飼料」が必要で、狩猟をしながら移動して生活していた縄文人にはどうして飼えない動物でした。というわけで、鶏と私たちの関係は、田熊石畑遺跡(いせきんぐ宗像)が栄えていた弥生時代から始まります。

## 鶏と古代人



鶏との関係が深い古代人。鶏はどのような役割を



小郡市津古・生掛古墳出土鶏形土器

人々の生活で担っていたの地古墳から出土しています。有名な遺跡が、小郡市の津古生掛(つこしようがけ)古墳です。この古墳からは、鶏の体形、トサカのかたちまでリアルに表現されている「鶏形土器」が3点発見されています。動物や人物をかたどった土器が他になく、このことは、鶏が古墳祭祀でいかに重要な位置を占めていたかを物語っています。

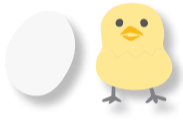
## 宗像では...



宗像では残念ながら、遺跡からは鶏関係の出土がありませんが、昔から「むなかた先生、むなかた卵」という言われがあり、教員を多く輩出する土地柄で、養鶏業が盛んだったことが分かります。

また、牛肉ではなく鶏肉を使った「鶏のすき焼き」は、家で鶏を飼うことが多かった宗像で今でも愛される続ける郷土の味です。

宗像名物「鶏のすき焼き」を食しながら、古代からの人と動物の係わりの変化に思いをはせてみてはいかがでしょうか。(文化財職員・田子森千子)



## たにいフログ? フォト日記



平成29年10月28日(土)、同29日(日)に開催される「第37回全国豊かな海づくり大会福岡大会」に向けて、機運を盛り上げるため、プ



タイのマスコットに目を入れる 谷井博美市長と小川洋興知事

同日開催した漁師まつりも大盛況でした。この大会は、例年天皇皇后両陛下をお迎えして、水産資源の保護・管理や海・河川などの環境保全の大切さを訴えるとともに、漁業の振興を図ることを目的に開催されます。

この大会の成功に向けて、市民のみならずの支援と協力をお願いします。 \*市HP: <http://www.city.munakata.lg.jp/> 市長ブログを紹介しています

問い合わせ先 秘書政策課秘書担当 ☎(36)0890



## 遺産群の世界的価値と 魅力を伝えるパネル展を 九博で開催

宗像市、福岡県、福津市などで構成する「宗像・沖ノ島と関連遺産群」世界遺産推進会議が、九州国立博物館で「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の価値と魅力を伝えるパネル展を開催します。

日時 2月7日(火) 同12日(日) 午前9時30分〜午後5時



昨年も多くの人でにぎわいました

宗像市認可霊園 宗像大社高宮祭場横

# 医王院 宗像聖地霊園

当霊園は宗旨、宗派を一切問いません。承継者がいない方でも安心して申し込みます。

●所在地:福岡県宗像市田島2211番地 ●交通:西鉄・宗像大社前バス停徒歩10分 ●経営許可番号:18宗環第86号

お申し込みお問い合わせは ☎0940-62-1566

## 永代供養相談受付中

墓地代(永代使用料)1区画

1.8㎡	2.35㎡	3.3㎡
144,000円	188,000円	264,000円

※表示は管理費抜きの価格です。

